

“わたしのまち”

台東区

歴史と文化が薫る、「世界遺産のあるまち」台東区を楽しむ

区内循環バス「めぐりん」で、楽しく文化施設巡り

平成28年7月17日、第40回ユネスコ世界遺産委員会において、台東区にある国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献―」が、世界文化遺産として登録されることが決定しました。台東区では、国立西洋美術館の世界文化遺産登録に向けた推進活動を熱心に行ってきたことから、登録決定の瞬間は感動に包まれました。

今回は、台東区のこれまでの国立西洋美術館の世界文化遺産登録決定に至るまでの取組のほか、区内文化施設の見どころや秋の企画展と、文化施設巡りに便利な循環バス「めぐりん」を紹介します。

国立西洋美術館が世界文化遺産に

◆世界文化遺産推薦までの経緯

国立西洋美術館は、戦後フランス政府から寄贈返還された松方コレクション（印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション）を保存・公開することを目的に開館された、西洋美術全般を対象とした国内で唯一の国立美術館です。その美術館の本館は、近代建築の巨匠の一人である世界的な建築家ル・コルビュジエによって設計されました。

平成19年9月、フランス政府からル・コルビュジエの建築作品を世界文化遺産に登録するため、日本政府に対し共同推薦の依頼があり、平成20年1

月、「ル・コルビュジエの建築と都市計画」の世界文化遺産への推薦が決定しました。

◆苦勞した推進活動

台東区では、平成20年3月に台東区国立西洋美術館本館世界遺産登録推進会議を発足させたのを契機に、国や都国立西洋美術館や国外の関係機関、区議会や民間の推進団体と連携しながら活動を行ってきました。

国立西洋美術館の建築的価値や建築家ル・コルビュジエの功績の内容が専門的であることから、区民にわかりやすい周知方法に工夫を凝らしました。例えば、区民講座では、美術館見学ツ

世界文化遺産登録の決定は地道な活動を支えた台東区にも大きな喜びをもたらした（左上：平成28年8月4日に行われた活動報告会、右上：決定の瞬間に喜びを表す服部長（左）、宮田文化庁長官（中）、馬淵国立西洋美術館長（右）、左下：区内循環バスめぐりに施されたラッピング、右下：うえの夏まつり登録決定記念パレード）



アーや、親子で参加できる建築ワークショップを企画しました。その他にも、ホームページやパンフレット、広報紙を配布したり、桜橋花まつり、下町七夕まつり等の区内各イベントでのPRをしたほか、美術館に隣接する上野公園等でのぼり旗の掲出や区内循環バス「めぐりん」へのラッピングなど、様々な手段を用いることで、地道な活動を重ね、世界文化遺産登録推進の区民への認知度を上げてきました。

◆世界文化遺産登録決定

平成21年に「ル・コルビュジエの建築と都市計画」として日本を含む6か国の推薦により世界文化遺産への登録を目指しましたが、登録には至りませんでした。続いて、平成23年には「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献―」として追加情報を提出し、新たな審査が行われたものの、国立西洋美術館の世界文化遺産登録の道は開けませんでした。それでも区では、継続して登録推進活動を進め、平成27年には、フランス政府が日本を含めた7か国を代表してユネスコ世界遺産センターへ改めて推薦書を提出しました。そして、今年、

世界文化遺産登録決定の決議がなされ、長年の念願がかないました。

やとつかんだ国立西洋美術館の世界文化遺産登録決定に、台東区には区内外から多くの祝福の届けがありました。

また、区内では数々のイベントも催され、国立西洋美術館のお膝元である上野地区では、7月21日にアメ横商店街で登録決定セレモニーが、7月23日には上野観光連盟主催の「うえの夏まつり」において登録決定記念パレードが行われ、たくさんの人々の祝福の声や拍手が送られました。また、周辺の商業施設では祝福の懸垂幕の掲出等が行われ、区内は祝いムード一色となりました。

さらに、今回の世界文化遺産の登録を記念して、10月29日（土）と30日（日）には、上野公園竹の台広場（噴水前広場）で、「国立西洋美術館世界遺産登録記念フェスティバル in 台東」が開催されます。

国立西洋美術館の世界文化遺産登録決定によって、区への来訪者数の増加が期待されています。

区内の見どころ文化施設

ほかに、区には多くの文化施設や芸術施設が点在し、貴重な文化財や歴史資料など、収蔵品の数々を見ることができま

す。毎年、秋が深まる9月には、区内でも特に多くの文化施設が集まる上野の山で、「上野の山文化ゾーンフェスティバル」が開催されます。このフェスティバルは、文化・芸術の様々な催しが一堂に会する魅力あふれるイベントです。この期間、各文化施設では、様々な企画展等を開催しています。国立西洋美術館では、10月15日（土）から平成29年1月15日（日）まで「クラナハ展―500年後の誘惑」が、下町風俗資料館では、平成29年1月15日

（日）まで特別展「娯楽の聖地 浅草―華やかなる130年」が、朝倉彫塑館

では、12月11日（日）まで特別展「朝倉文夫・楨・響子三人展」が、書道博物館では、12月16日（金）まで企画展「中村不折 生誕150年記念展」〔後編〕不折コレクションを中心に」が開催されます。ほかに、台東区立一葉記念館では、11月の樋口一葉の命日にあわせて、一葉祭が開催されています。今年は11月20日（日）から23日（水）に開催され、期間中は入館無料となります。一葉祭では、「たけくらべ」ゆかりの地めぐりや記念講演、朗読などが行われます。

「めぐりん」で区内を巡ってみよう

区内に点在する文化施設を巡るのに便利なのが、区内循環バス「めぐりん」です。

めぐりんは、これまでの「北めぐりん」（浅草、下谷、鶯谷等、区北部地域）、

「南めぐりん」（上野、入谷、浅草橋等、区南部地域）、「東西めぐり

ん」（上野、谷中、浅草等、区東西地域を結ぶ）の運行ルートに加え、今年の1月31日から、区北部地域と南部地域を時計回りにつなぐ「ぐるーりめぐりん」の運行が開始されました。

この「ぐるーりめぐりん」によって、区内の様々な施設を巡るのが、より一

区内の見どころ文化施設

国立西洋美術館

©国立西洋美術館



東西めぐりん「上野駅・上野公園」下車徒歩2分

所在地 台東区上野公園7-7
開館時間 午前9時30分～午後5時30分(冬期は午後5時まで)、金曜日は午後8時、土曜日は常設展 午後8時、企画展 午後5時30分まで
 ※入館は閉館の30分前まで
休館日 月曜日(休日の場合は翌火曜日)、年末年始
URL <http://www.nmwa.go.jp/>

台東区立 一葉記念館



北めぐりん「一葉記念館入口」下車徒歩2分

所在地 台東区竜泉3-18-4
開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始、特別整理期間中



URL <http://www.taitocity.net/zaidan/ichio/>

池波正太郎記念文庫



南・北めぐりん「生涯学習センター北」下車 徒歩2分

所在地 台東区西浅草3-25-16(台東区生涯学習センター1階・台東区立中央図書館内)
開館時間 月～土曜日 午前9時～午後8時、日曜日・祝日 午前9時～午後5時
休館日 毎月、第三木曜日(館内整理日・祝日に当たる場合はその翌日) 年末年始、特別整理期間

※展示替え、資料整理のため臨時休館する場合がありますので、ご確認ください

URL <https://www.taitocity.net/tailib/ikenami/>

台東区立 朝倉彫塑館



東西めぐりん「谷中霊園入口」下車 徒歩約10分

所在地 台東区谷中7-18-10
開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は、午後4時まで)
休館日 月曜日・木曜日(祝日と重なる場合は翌日)、年末年始、展示替え等のため臨時休館することがあります。

URL <http://www.taitocity.net/zaidan/asakura/>

日本の彫塑界の中心的存在として活躍した彫刻家朝倉文夫が、東京美術学校を卒業した明治40年、24歳の時に谷中の地にアトリエと住居を構え、この場所を「朝倉彫塑塾」と命名し、教場として広く門戸を開放して弟子を育成した場所を見学できる。

書道博物館



北めぐりん「入谷区民館根岸分館(書道博物館)」下車 徒歩3分

所在地 台東区根岸2-10-4
開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 月曜日(祝日と重なる場合は翌日)、年末年始、特別整理期間等
URL <http://www.taitocity.net/zaidan/shodou/>

洋画家であり書家でもあった中村不折が、その半生40年あまりにわたり独力で蒐集した、中国及び日本の書道史研究上重要なコレクションを有する専門博物館。

下町風俗資料館



東西めぐりん「不忍池」または「京成上野駅」下車 ともに徒歩2分

所在地 台東区上野公園2-1
開館時間 10月30日(日)まで午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)11月1日(火)から午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 月曜日(祝日と重なる場合は翌日)、年末年始、特別整理期間等
URL <http://www.taitocity.net/zaidan/shitamachi/>

明治時代の自動電話機、大正初期の写真絵葉書(上野大仏、浅草六区興行街)、たらいと洗濯板、長火鉢、昭和の銭湯の番台や東芝製テレビなど、台東区内外から寄贈された、たくさんの貴重な資料が展示されており、当時の文化や歴史を感じさせる。

区内の観光に便利な、区内循環バス「めぐりん」



も良いでしょう。

台東区の歴史と文化を楽しむために「めぐりん」を上手に活用してみるのが良いです。(入館は無料です。)

波作品ファンから愛されているスポットです。また、書斎の復元や著作、自筆原稿、絵画等の一部を常時展示していて、池波作品ファンから愛されているスポットです。また、書斎の復元や著作、自筆原稿、絵画等の一部を常時展示していて、池波作品ファンから愛されているスポットです。また、書斎の復元や著作、自筆原稿、絵画等の一部を常時展示していて、池波作品ファンから愛されているスポットです。

層便利になりました。一日乗車券(300円)を利用すると全路線が1日乗り放題になるだけでなく、乗車券の提示で下町風俗資料館や一葉記念館、書道博物館、朝倉彫塑館の入場料が団体に適用される割引特典もあります。また、北めぐりと南めぐりの乗り継ぎスポットになっている区の生涯学習センターには、「池波正太郎記念文庫」があります。池波正太郎作品に関する様々な資料が寄贈されています。また、書斎の復元や著作、自筆原稿、絵画等の一部を常時展示していて、池波作品ファンから愛されているスポットです。